

入力支援機能付き診断書様式の

基本的な使い方

1. 元号、年、月、日、身体障害者手帳の有無等はプルダウン入力です。各セルをクリックすると右枠外に表示される三角マークをクリックしプルダウンメニューから選択してください。年齢は自動計算されます。
2. 住所は連動プルダウン入力です。市区町村名をプルダウンで入力すると、右隣のセルにその市区町村内の町内、字名等がプルダウンで表示されます。丁目、番地等はキーボードまたは手書き入力願います。
3. 診断名も連動プルダウン入力です。まず大分類(病名のすぐ右隣のセルです。印刷されません)をプルダウンで選択します。すると右隣のセルにプルダウンでその大分類の二桁(F4とF84は三桁まで)分類が表示されますので、該当するものを選択します。ICDコードは対応するものが自動的に入力されます。病名リストにないものは手書き等で記入願います。
4. 各チェックボックスはチェックを入れると印刷時その場所に○が印字されます。チェックボックス自体は印刷されません。
5. 説明記載欄に説明を入力する場合、スペースに収まりきれないときは必要に応じフォントを小さくして入力してください。なお、印刷後手書きで文字を加えても構いません。
6. 赤字でエラーメッセージが表示された場合は記載漏れや記入した項目相互に何らかの食い違いがあります。記入を追加、または削除し食い違いを解消願います。
7. 診断書の作成日付は今日の日付が自動的に入力され、患者の年齢はそれに応じて自動計算されます。診断日を別な日付としたい場合は当該セルをクリックし「=TODAY()」を削除して手入力(西暦/月/日)してください。
8. 様式の下緑色枠内に診断書を記載する医師の氏名を

入力しておく医師名のプルダウンリストに反映されます。

9. 医師氏名欄に自筆で署名する場合はプルダウンリストは空白を選択してください。医療機関の名称、所在地、電話番号等はゴム印の使用をお奨めします。

11.両面印刷が可能なプリンターをご使用の場合は、印刷の設定を「両面印刷」とされるようお願いいたします。

その他の注意

1. ワークシート右側の色のついたセル(デフォルトは非表示)は計算領域です。セル削除等の操作で位置がずれると参照範囲が変わって本ファイルの動作不良が生ずることがあります。
2. プルダウンリストにある項目以外を記入する場合は編集メニューのクリアボタン(消しゴムの形のアイコン)から「数式と値のクリア」を選択し、リストを削除してからキーボード入力するか、プルダウンリストの空白を選択し手書きで記入してください。

主な更新履歴

手帳様式3.1（平成24年11月9日）

1. ④（9）「精神作用物質の乱用および依存等」欄に「現在の精神作用物質使用の有無」等が欠落していたものを追加
2. 医師氏名リストの位置を変更

手帳様式3.2（平成24年12月19日）

1. 説明記載欄の書式設定を「折り返して全体を表示する」に統一
2. ④（1）「その他」欄に誤ってはじめから入ってしまったチェックマークを除去

通院様式3.1（平成24年12月19日）

説明記載欄の書式設定を「折り返して全体を表示する」に統一

通院様式3.2（平成25年4月3日）

1. 様式の変更に伴い「現在の治療内容」の「投薬治療」を変更
2. チェックマーク入力欄の○印のフォントを拡大（9ポイントから12ポイントへ）。

手帳様式3.3（令和4年1月7日）及び通院様式3.3（同日）

1. 元号の令和対応
2. 性別欄の削除
3. 令和2年3月30日付け様式変更に伴う修正（てんかん発作記載の詳細化など）
4. 大分類 F1（精神作用物質）およびその病名リスト二桁以下を追加
5. 手帳用の病名の主たる精神障害から F1 を除外
6. F4（神経症性障害）、F84（広汎性発達障害）の病名リストに三桁目を追加
7. 医師押印の廃止
8. 「印刷範囲の設定」、「シートの複製」両マクロボタンを削除